

令和6年度 第3回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会議事録

開催日時：令和7年2月21日（金）午後2時～午後3時57分

開催場所：KTX アリーナ 2F 会議室3

出席者：大勝志津穂委員、岩田正武委員、河合荘太郎委員、水野三佳委員、
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、植島禎一委員、
横山史明委員 委員計9名
村教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：岩田一洋委員

傍聴者数：3名

委員長あいさつ

教育長あいさつ

議題

- （1）江南市運動部活動地域移行の運営主体の見直しについて（案）
- （2）江南市運動部活動地域展開 推進計画（案）について
- （3）教育委員会提出の報告書（案）について
- （4）地域展開推進スケジュール（案）と課題について

会議資料

- 資料1 江南市運動部活動地域移行の運営主体の見直しについて（案）
- 資料2 江南市運動部活動地域展開 推進計画（案）
- 資料3 教育委員会提出の報告書（案）
- 資料4 地域展開推進スケジュール（案）と課題

議事内容

議題（1）江南市運動部活動地域移行の運営主体の見直しについて（案）

○事務局

資料1により説明

運営主体見直しの理由について、これまで試行実践を進めるにあたり、運営主体の第一候補である総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ江南」に委託し、事業の推進を図ってきた。このことは検討委員会においても了承を得ている。

しかし、この事業を推進するにあたり、様々な課題が出てきた。まず、「スポーツクラブ江南」内の組織体制について、さらに協議が必要であること。また、「スポーツクラブ江南」から本事業の推進にあたり、いくつかの要望が出されているが、

これらの要望について市の方針と合わない点もあるため、協議が必要であること。

また、6年度の試行実践の結果から、参加者人数と予算の人数に、大きな差もできており、事業費の差も生じている。このように、「スポーツクラブ江南」に委託していくうえで負担となってくる。

このため、令和7年度より事業を円滑に推進するため、当面、江南市が運営主体となって進めるものとし、事務局を教育委員会スポーツ推進課に置くこととする。

今後の江南市の方針として、この事業は地域のスポーツ団体等に委託していく方法が望ましいと考えており、事業の推進に関して課題等の解決が図られ、不安が解消されれば、当初の予定どおり、第一候補である「スポーツクラブ江南」に業務を委託していく方針である。ただし、今後も「スポーツクラブ江南」との協議が進まない中で、他のスポーツ団体等での受託が可能であれば、改めて業務の委託先について検討することも考えられる。

まずは、生徒、保護者にとって最善の方法を考えていきたい。

○委員

いくつかの要望の具体的な内容について聞きたい。

○事務局

主なものとして、事業を実施する際、学校の保健室を始めとした学校施設を利用していききたい、ということ。土曜・日曜日は学校行事より地域クラブ活動を優先すべき、との意見もいただいている。現段階では、難しい課題である。

○委員

当面は江南市が運営主体となるとのことだが、令和8年度に移行が始まった時、スポーツクラブ江南はどのように関わっていくのか。

○事務局

当初の予定どおり「スポーツクラブ江南」が運営主体となっていていただくことを望んでおり、現在話し合いを積極的に進めている。何かの部分で関わっていただけるものと思う。市で進めていく中でも課題が生じてくると思うが、協力して新たな組織ができればと思っている。

○委員

今後「スポーツクラブ江南」との協議がうまくいかなかった場合、令和8年2学期になったとき、移行せず部活動をこれまで通り続けることもあり得るのか。

○教育長

市が主体となっても地域移行は予定通り実施していく。中断するという考えは無い。

○委員

参加者人数と予算の人数に、大きな差もできており、事業費の差も生じていることの説明をしていただきたい。

○事務局

6年度の実績が出てきている。予算で300人程の参加者を見込んでいたが、実績では200人程の参加になったため、予定どおりの参加費収入が見込めなくなった。それに対して、指導員の人数は減らすことが難しく、参加費の減少に比べると支出は、あまり減っていない。事業費の財源が思ったより得られなかったという内容である。

○委員

予算等の細部が分からない中で、何を意見として言っていけばいいのかわからない。

○教育長

これまで試行実践では「スポーツクラブ江南」に大変お世話になってきた。試行実践は、課題を見つけるためにやってきた経緯もあるが、「スポーツクラブ江南」の組織内でうまくいかない部分もでてきたと聞いている。事業予算もこれまでより規模も大きくなるため、しばらく市が運営主体として進めていき、「スポーツクラブ江南」の体制が整った際には、是非お願いしていきたい、と考えている。令和8年2学期から休日の学校部活動は実施しないことから、実際の地域クラブ活動への参加人数もつかめてくる。その人数規模でお任せすることができれば、お願いしていきたい。スタートする令和8年2学期からは市が主体としてやり、できれば令和9年度から交代できればよいと考えている。それまでに、今まで要望として出てきた課題を解決した後に交代できればと考えている。

○委員

各中学校では、4月から生徒にどのような説明ができるのか明確にして欲しいと言われている。試行実践については、主体が市になったとしても、指導者の確保ができており、試行実践は続けていく目途がたっているのか。

○事務局

令和6年度の規模であれば、現段階でお願いしている指導員に再度お願いしていく考えである。今日の委員会で、ご意見をいただき、市の方針が決まった後、地域等に投げかけていきたい。

○委員

試行実践は続けて実施していく方針か。

○事務局

開始時期は遅れるかもしれないが、実施していく予定である。

○教育長

試行実践はスポーツクラブ江南から市が引き継いで進めていく。指導者も市がお願いしていくことになる。子どもたちに影響のない形で進めていく。

○委員長

他に質疑もないようなので、議題（１）の江南市運動部活動地域移行の運営主体の見直しについては、案のとおりとしていく。

それでは、続いて議題（２）の江南市運動部活動地域展開 推進計画（案）について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

資料２により説明

昨年１０月４日開催の第２回検討委員会にて承認をいただきました、「江南市運動部活動地域移行 推進計画」は、議題１で説明した通り、現段階で、運営主体を見直し、事業の委託先が決定するまでの間、「スポーツクラブ江南」から江南市が運営主体となる内容に変更を加えた、江南市運動部活動地域展開 推進計画の修正（案）を、本日提出させていただいた。

大きな変更点は、この取組は地域全体で連携して行うことを明確に表すため、地域移行」の文言を「地域展開」に変更をしている。

本日、皆様からのご意見を伺ったうえで、修正（案）について承認をいただきたい。

○委員長

「江南市運動部活動地域移行 推進計画」を、「江南市運動部活動地域展開 推進計画」へ修正する（案）についてご意見いただきたい。

○委員

実施する回数や参加費の具体的な金額は、この計画内では、記載しない方がよい。

○委員

種目によっても金額は変わると思うので、金額は無い方がよい。

入学説明会にて詳細の説明を実施していただいたが、当初の予定と運営主体が変更となったことについて、文書でもよいので説明することが必要ではないか。

○委員

試行実践はこれまでと変わらない継続の事業として変わらないという理解でよい。

○事務局

これまで関わっていただいた方、指導いただいている方には、引き続きお願いしていく。

○委員

推進計画で運営主体が変更となるが、今後の運営主体としてスポーツクラブ江南となることも考えられるので、その引継ぎに混乱が生じないように、しっかりと説明していただきたい。

○事務局

情報を共有し、丁寧に説明していく。

○委員長

地域クラブ活動の指導者が指導者資格を取ることは、必須になってくると思う。

1年目だけでも経済支援を考えて指導者資格の取得を促せるよう、検討して欲しい。

他に質疑もないようなので、議題（２）の江南市運動部活動地域展開 推進計画の修正案について、ご意見いただいた箇所の修正を含めて、承認をいただきたい。

（挙手 全員）

それでは、この議題について承認させていただく。

続いて議題（３）の教育委員会提出の報告書（案）について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

資料３により説明

教育委員会への報告書については、令和６年度３回実施した検討委員会での協議、検討結果を取りまとめて報告する。

内容を順に説明する。

１ 休日の学校運動部活動は令和８年度の２学期を目標として、地域クラブを地域へ展開していく。

- ・令和８年２学期から、学校の運動部活動は平日のみ実施する。

- ・地域クラブは原則として市内５校の合同クラブとして、会場は学校施設を利用する。

- ・活動時間は、休日（土・日）いずれかの３時間程度とする。

留意事項としては、・保護者、関係者に対して十分な周知に努める、・地域クラブへの参加生徒は、参加費等の受益者負担を原則とする、・参加する生徒やお手伝いいただく保護者が安心して活動するための保険加入について精査すること、に留意、検討をまいります。

２ 地域クラブの運営の事業主体は、地域のスポーツ団体としていくことを目指すが、運営主体が決定するまでの間は、教育委員が運営する。

- ・持続可能な活動としていくため、地域全体で連携を強めて推進できるよう、各種スポーツ団体、教育機関、地元企業との協働と連携を強めて、スポーツを通した地域づくりへとしていきたい。

- ・地域クラブを実施する種目の選定と指導者の確保、研修を受講していただくことで、健全なスポーツ活動の場としていく。

留意事項としては、・江南市が目指す地域クラブは、勝利志向に偏らない「生徒の居場所づくり」を主眼とする、・トラブル等の責任の所在を明確にする、・今後の持続可能な活動を運営できるよう、各種スポーツ団体等への資金面、運営面での支援策を検討していく。

３ 令和８年２学期以降の中体連主催等の大会への参加は、地域クラブでの参加

をめざす。

このことにより、・令和8年夏休みが終わるまでの学校運動部活動で、中体連主催の大会参加は、学校単位で参加することとする。

・地域クラブとして活動の無い種目については、校長の許可により学校単位で参加できることとする。

留意事項としては、・中小体連の大会への参加要件、方針の変更などの最新の情報収集に努め、地域クラブ活動の運営に反映すること、・大会へ参加と引率について、指導者の責任の範囲と費用負担を明確にする、・大会参加に向けての生徒、指導者への支援と情報提供に努めることが肝要となると考えている。

4 国、県の動向を踏まえて、先ほど承認いただいた計画期間を令和8年末とした「江南市運動部活動地域展開 推進計画」に基づき、この取り組みを進めることとする。

添付書類としては、令和6年度江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会委員名簿、江南市運動部活動地域展開 推進計画とする。

○委員

令和8年2学期から、学校運動部活動は平日のみ実施としているが、運動部の活動を学校が必ず実施する、という意味に捉えられる。現在は、部活動の名称ではあるが、子どもの活動を教員は見守るという形なので、部活動という名前に固定しなくてもよい。

○教育長

具体的にどのような表記にしたらよいか。

○委員

学校で行う活動は、土日に行う地域クラブ活動の延長線にある活動として、それを見守っていく。体育的活動という内容にして、教員は当番制で見回するという予定を考えている。

○委員

文章の主語が学校と読み取れるので、検討委員会がどうする、という書き方としていけばよい。

○委員

将来的に平日の部活動も移行していく方針があるため、令和8年2学期から、学校運動部活動は平日のみ実施と記載があると理解したが、そこまでの考えが無ければ、令和8年2学期から、学校運動部活動は平日のみ実施する。の文章は削除して構わない。

○委員

学校単位での今後の方向性もまだ定まっていない状況なので、書かない方がよい。

○事務局

ご意見を整理して修正する。

○委員長

中小学校体育連盟と中体連の語句の統一は、どちらに合わせるか。

○委員

愛知県は中小学校体育連盟で、全国は中体連としている。

文中の大会参加は校長の許可により学校単位で参加できる、と言いきることは難しいと思う。先程の中小学校体育連盟と中体連のどちらの大会を指すのか、また、それ以外の大会をすべて指しているのか、それから、種目によって参加条件があるので、校長の許可があれば必ず出場できるということではない。参加することが可能というような書き方にして欲しい。できる、という言葉は避けて欲しい。

○事務局

この大会参加の部分の記載はあった方がよいのか。

○委員

あった方がよい。中小体連という言葉と許可により学校名で参加することが可能となる、種目ごとの条件に合っていれば、ということである。

また、県に登録してあるクラブチームでないと出場はできない。登録されていないチームが中小体連の大会には出ることはできない。

○教育長

学校の部活動で行っている種目で、地域クラブとしてはできない種目については、学校単位で出場することも可能となるのではないか。休日に行う活動なので、引率等は学校長が許可をして実施していかなければならない。

○事務局

地域クラブに無い種目の中体連主催の大会へは、校長の許可があれば参加することが可能であり、許可が無ければ参加することができないことがわかればよい。

○委員

参加したい場合は校長に申し出て許可してもらうようにする。

○委員

校長の許可による、という言葉があるので、そのままでもいいと思う。

○教育長

基本的には愛知県の場合は、中小体連とした方がよい。

○事務局

文中では、中小学校体育連盟に文言を統一する。

なお、文中の「地域クラブ」という言葉を、全て「地域クラブ活動」という言葉

に変更する。

○委員

市内各種スポーツ団体等への資金面での支援策とあるが、地域クラブ活動の運営主体となる団体は、補助金を出すこととなるのか。

○事務局

委託をしていくことを考えている。委託内容を仕様書に明記して実施していく方が望ましいと思う。活動するために必要な資金の確保が必要となってくる。

○委員長

ご意見を反映して修正した報告書を、教育委員会に提出することとしたい。

○事務局

報告書の提出は、修正後、委員にお目通しいただき、令和7年4月8日の教育委員会定例会議にて、副委員長の岩田正武委員にお願いしたいと考えている。

○委員長

それでは、議題4について説明願いたい。

○事務局

資料4により説明

休日の運動部活動の地域展開の目標である令和8年2学期に向けて、令和7年度、令和8年度の市と事務局、児童生徒及び保護者の区分で実施していく内容を簡単にまとめている。令和7年度試行実践を実施していくが、市が運営していくこととなるため、例年より時間が必要となる。地域の方々、指導員、学校、保護者に速やかに周知していく予定としている。令和8年2学期から、休日の学校運動部活動は実施しなくなる方針は変わらないので、そこに向けて参加生徒数の把握、指導者の確保をして参りたい。

○委員

参加する児童・生徒数の把握のため、予備登録を実施する予定としているが、児童はイメージができないので、生徒だけでいいのではないか。

○事務局

なるべく参加する方全てに意向を聞いて、受益者負担、移動の問題等、併せて把握できたら、と思っている。

○教育長

ある程度の人数を把握し、予算の確保をしていくため、予備登録という言葉は使わないかもしれないが、児童にも意向を聞いていきたい。

○事務局

現在の検討委員会を仮に推進委員会という名称に変えていきたい。正式には、要綱を作成して、教育委員会で承認をいただく予定である。

○委員

スケジュールは、ある程度の目安ということで理解して進めていけばよいか。

○事務局

その様をお願いしたい。

○委員

今後、作業部会はどのような活動となっていくのか。

○事務局

作業部会は引き続き、何かを決めていく際に、調査や検討する材料を集めることをお願いしていきたい。

本日の資料について、ご意見を反映し修正を加えた資料を再度、作業部会委員にもお目通しいただく予定をしている。

○委員長

この取組について、学校を経由して子どもと保護者に周知を実施していると理解している。

○委員

4月に地域クラブ募集案内メールとしているが、どのようなものなのか。

○事務局

試行実践の参加案内となる。4月からは遅れるかもしれない。

○委員

試行実践はスポーツクラブ江南から市に運営が変わっても続ける、という理解でよいか。

○事務局

案内はスポーツクラブ江南という名称は入らず、市が直営で行うことになる。

○委員

作業部会はどのくらいの頻度、回数で動いているのか。

○事務局

委員は職場内の方が多いため、個々のやりとりは随時しているが、検討委員会でテーマが出た場合とか、提案する時に資料のお目通しをいただき、意見をいただく場合が多い。

○委員

検討委員会では方向性を議論しているが、実際は意見や要望も持っている。そうした具体的な案件を委員会では発言は控えているが、その場合は作業部会に依頼していけばよいのか。

○事務局

検討委員会の中でご意見を出していただき、その意見を委員長から作業部会に内容を検討、調査していただくことになっているので、検討委員会でご発言いただきたい。事務局へも直接お伝えいただければ、検討していく。

○委員長

入学説明会で保護者に説明をしたことに対する疑問点や要望、聞きたいことを吸い上げるシステムがあるとよい。自由に意見が言える場所があった方がよい。

○事務局

入学説明会の場でいただいた意見、その後に電話等でいただいた意見は、多くなかった。意見をいただく機会をつくっていききたい。今後、予備登録をしていく時にアンケートを考えているので、そこで意見を聞いていききたい。

○委員長

続いて、資料の地域クラブへの展開推進における課題について説明願いたい。

○事務局

これまでご意見をいただいた課題を挙げている。

1 生徒の多様な活動の創出として、生徒のニーズに沿った地域クラブ活動の創出については、いろいろな場面でご意見をいただいていきたい。

2 持続可能な社会活動の創出、地域ポテンシャルの活用の推進では、スポーツ団体、学校、市内企業等の協力体制の構築していききたい。

3 指導員の確保と育成として、指導者確保に向けた地域の人たちへの積極的なPR、愛知県の人材バンクを活用したデータベースの作成、地域クラブ活動の指導員を育成するための適切な研修会・講習会の実施、また、意見交換の場の設置をしていければよいと考えている。

4 地域クラブ活動の大会参加について、学校部活動と地域クラブ活動の大会出場に係る情報収集と関係者への情報提供をしていきたい。

5 地域クラブ活動についての周知と理解促進は、児童、生徒、保護者や地域への周知は今、力を入れているので、引き続きしっかりやっていきたい。

6 受益者負担の範囲については、この事業の全てを公費で負担することは難しいため、地域クラブ活動運営に係る費用負担に対する理解と参加費の設定と徴収方法の確立をしていきたいと考えている。

これらの課題について、皆様からご意見をいただきたいと思います。

○委員

現在の小学校5年生、4月からの新6年生には、昨年10月に周知の文書、Q&Aを配布したが、もう一度丁寧な説明があった方がよい。

○委員

今後、部活動が縮小され、地域で展開されるようになると、そこに参加できない子どもが出てくる。そういった子どもの心身の成長を心配している。以前、検討委員会で、参加費負担についての補助の必要について、教育長の言葉にあったと思う。このことについて、どうしていくのかを考えていく必要がある。格差が広がらないようにしていかなければならない。

○委員長

大事な視点だと思う。子どもの貧困問題、格差については、スポーツの現場、大学においても課題となっている。どこかに委託をして、委託先に補助金を出して運営していく方法を確立するなど、受益者の負担を少しでも抑えていく方法を検討していくことも必要である。

○教育長

学校運動部活動を地域へ展開していくことを検討しているが、すべての子どもが加入するわけではない。すでに民間のクラブチームに参加したり、それぞれの活動をしている子どももいる。中学校の課外活動の全てを支援していくことは大変なことである。委託費を組むうえで、指導員への謝金や消耗品等は市が応援していこうという考え方である。中学校部活動を延長させるという形であるから、これまでの部活動予算を継続させていく方法で市が応援していく考え方もある。しかし、他にも活動している子どももいるため、どこに手を入れていくかは難しい。所得の低い家庭に対しては、就学援助の制度があるので、それと同じような助成の考え方ができないかを検討していけないか、と思う。

○委員

スケジュールで、令和8年8月に指導員打合せ会・研修会が予定されているが、もう少し早く実施するようにして欲しい。

○委員長

ご意見ありがとうございました。議題としては終わらせていただく。
次のその他について、何かあれば。

○教育長

情報として、令和9年度以降、愛知県の中小体連は全国の中体連と同様の方向性で動く。部活動数が少なくなれば、大会期間の短縮や規模を小さくしていく方針を示されている。最終的には、地域展開が進めば、愛知県の中小体連は廃止する方向まで示されている。ただ、中学校の部活動が残っている間はやっていくという方向も出ている。それにより各大会に影響が出てくると想定されている。全国も愛知県も相当に地域展開が進めば規模を縮小する考えである。

他の市町も地域展開を進めていこうとしているが、課題も多い。しかし、成功している自治体もあるので江南市も遅れるわけにはいけないので、進めさせていただく。

○事務局

「地域クラブ」を「地域クラブ活動」と文言を修正させていただくことは、本日の全資料で併せて修正していく。

委員の皆様には、本日の議事録とともに修正したものを、整い次第、送付させていただくので、よろしくお願いしたい。

○委員長

それでは、長時間に渡り活発なご意見をいただき感謝申し上げます。

これをもって、令和6年度第3回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会を終了する。